

まよろたんと

vol.34

19の心をつなぐ

高龍中学校駅伝部全員19人の心をつなぎ

第57回京都府中学校男子駅伝競走大会 31年ぶりに優勝
第14回全国中学校駅伝大会に 丹後勢で初めて出場

高龍中学校駅伝部男子



(前列左から) 内田清公さん、山下大貴さん、上木湧登さん、小國 敦さん、小井根尚明さん
(後列右から) 西住裕高さん、今井拓実さん、井上達也さん、木村明広さん、岡田龍之助さん

主な内容

- ◆年頭のごあいさつ
- ◆市民のみなさん一人ひとりを大切にしまちづくり
「京丹後市自殺ゼロ実現推進協議会」を設立
- ◆高品質の行政サービスを提供する
「京丹後市総合サービス株式会社」を設立

たすけあい、支えあいの

喜びあふれるまちづくり

京丹後市長 中山 泰

あけましておめでとうございます。市民の皆様には、平成十九年の新春を健やかに迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。

昨年は、丹後町間人地区でお二人の方がお亡くなりになる大規模な土砂災害が発生しましたが、お二人のご冥福を衷心よりお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。本年が関係者の皆様に少しでも多く喜んでいただけるような年となりますよう、復旧、復興に懸命に力を尽くしてまいります。

どのような災害・復旧の現場でも、他方で立場を越えたお人お人のたすけあい、支えあいの真心に拝し感慨を身



京丹後市長 中山 泰

にしみて深くいたしますが、今、行政として、国と地方の関係が見直され、全国的に地方財政に厳しさが増し自主性のある地方行政の対応が一層求められる中で、災害対応に限らず福祉、医療、教育、産業振興など広くまちづくり全般にわたり、いわゆる「公助」から、「共助」(行政や市民が力を合わせ、推し進めること)のかたちを協力して進めていくことが、心と心が触れあう安心と喜びのまちづくりを進める上でもことのほか大切であるとかみしめ直しております。

その上で、いわば「市民力」が一層励まされ、活かされ、高められる、そんなまちづくりが今後とみに大切であります。市民の皆様お一人お一人の創意や工夫が評価され活かされる仕組みづくり、安心して何事にもチャレンジでき、仮に一旦失敗に帰しても再び英気を養えるような環境づくり、そして市民力の活気活性が増し、また行政自らも失敗を恐れずよきものの創造に向かって絶えず努力していく姿勢、そんな取り組みの積み重ねがよく必要ではないでしょうか。

当市の社会経済を巡る状況には、概して依然厳しいものがありますが、明けな夜もなく、止まない風雨もあり、竹は節を得て節を重ねながら、より強くより大きくよりしなやかに、と言われます。節の季節は、一見成長も滞る厳しい時節ですが、厳しい中にも、新しい芽吹きや成長を大きく育むにはなくてはならない、貴重な糧や経験や力を蓄えることへと導かれるとても大切な、宝のような時期です。そんな中で、昨年は、新市の発展、繁栄に向け、市の総合計画の策定を受けて、市民の皆様との「協働と共創」を掲げ、産業振興や生活・福祉、インフラ整備などさまざまな分野で具体的な歩みを踏み出し始めました。産業振興の分野では、現行工業団地区画の完売と新工業団地の造成への着手、駐車場や外灯など観光地インフラの整備、丹後ファッショントウイークの実施、各種農業生産法人の誘致、特産品ショップの開設などの取り組みを開始し、また、まちづくりの分野では、原発問題解決への着手、京都工芸繊維大学京丹後キャンパスの誘致や連携の推進、二百円(上

限)パスの運行支援、京都ファイアーバースや中国・亳州はくしゅう市との友好協力の締結など、道路、下水道などのインフラ整備、各種福祉や保育、教育各般の環境整備も着実に進め、このほか、市の行財政健全化、郵便局との連携にも具体的な取り組みを開始したところです。

このような取り組みはまだ始まったばかりで本当の成果はまだまだこれからですが、本年も、さらにまたいろいろな新たな芽吹きを大きくしなやかに育んでいけるよう、そして何より、市民の皆様お一人お一人が互いに活かされあい、助けあい、支えあって皆銘々の喜びが重なるような、心と心が触れあう共助のまちづくりが育まれますよう、市民の皆様と力を携え心をともに、各分野で創意と工夫で一歩一歩懸命に取り組みを重ね、力を尽くしてまいります。

新しい年が市民の皆様にとりましますます喜びの多い豊かな年でありまことを心からお祈り申し上げます。新春のごあいさつとさせていただきます。

地域力再生元年

明日へ希望のもてる「京都」のために

京都府知事 山田 啓二

府民の皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年の春、多くの府民の皆様からご信託をいただき、再び府政の舵取りを担わせていただくこととなりました。本年も皆様からいただいた期待を胸に、全力を尽くして京都府政を推進してまいりますので、よろしく願っています。

振り返りますと、昨年は、経済・雇用情勢に徐々に明るさが増してきた一年でしたが、その一方で、府内でも児童虐待により幼い命が失われるという事件が起きるなど、全国で子どもたちをめぐる痛ましい事件が続発した年でもありました。

京都府としては、事件の経過を徹底的に検証し、その反省の上に立って、二度とこのようなことがないように、全力を尽くす決意を新たにしております。

府政の基本は、何よりも府民の皆様への安心・安全の確保であり、その上に立って、誰もが明日に希望をもって暮らせる京都づくりをしていかなければなりません。そうした観点から昨年は、地域の安心・安全のために、府内の全小学校区で子ども・地域安全見守り隊の結成を願



京都府知事 山田 啓二

いし、また、現場警察官や交番相談員を大幅に増員いたしました。さらに、都道府県では初めて、障害者自立支援のため独自の負担緩和策を講じるとともに、医師不足の進む府北部の病院に産婦人科医師を派遣するなどの取り組みを進めてまいりました。こうした安心・安全のための施策に、多くの府民の皆様からご支援とご協力をいただき、改めて心より感謝を申し上げます。

今、私たちの社会は安心・安全の問題をはじめ、教育や家庭の問題、中小企業や農林水産業の振興、環境の保全や文化の振興、地域間格差の問題など、解決しなければならぬ多くの課題を抱えています。とりわけ核家族化や少子高齢化の進行などを背景に、人と人との関係が希薄化し、人々が孤立化する中で、社会を支えてきた地域の力が衰えつつあり、貧富や地域間の格差の拡大がこうした傾向に拍車をかけ、温かく地域の人を見守る社会が失われつつあることが、何より心配されます。

り人と人とのネットワークを強化し、京都のもつ産学公の力を結集することにより、誰もが明日に希望のもてる社会づくりに、これからも全力を挙げて取り組んでいきたいと思っております。

まさに今年を京都府の「地域力再生のための新たなスタートの年」と位置付け、市町村との連携のもと、積極的な施策の展開に努め、文化や環境など京都が古くから育んできた伝統を活かし、東京にはない京都の価値を広く内外に発信していきたいとも思います。

私たちは、北から南までこの豊かで実り多いふるさとに誇りをもち、人と人との信頼と絆を強め、弱い立場にある人たちをしっかりと支えながら、「安心・安全、希望の京都」を府民の皆様と一緒につくり上げるため、本年も職員一同、全力を挙げて取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

結びに当たり、この一年の府民の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

高品質の行政サービスを提供する 「京丹後市総合サービス株式会社」を設立

市では、財政の健全化を進めつつ、機能的・効果的なアウトソーシングを展開し、事業活動の活力を一層高めていく一つの手段として、高品質の行政サービスを提供する「京丹後市総合サービス株式会社」をこのたび設立しました。

市では、極めて厳しい財政状況の中、財政の健全化をはじめとする諸課題を解消し、新しい行政経営の展開と市民本位の開かれた行政運営を推進するため、平成十六年十二月に「行政改革大綱」を策定。また、この大綱を基に具体的な改革推進プログラムを定め、「行政改革推進計画」を平成十七年十月に策定し、人件費などの内部管理経費の縮減などを図っているところだ。

同計画では、財政の健全化を図るため、平成二十二年度を目標に市の職員数の縮減を図ることとしており、加えて機能的・効果的な行政業務のアウトソーシング（業務の担い手を外部に求めること）を推進し、事業活動の活力を一層高めていくこととしています。

このような中、行政業務を担保しつつ、高品質の行政サービスを提供する組織として、京丹後市の発展と市民生活の向上を基本理念とする「京丹後市総合サービス株式会社」を設立。会社を集う人々を会社の宝「人材

役員名簿 (敬称略)

代表取締役社長	田中 治 (大宮町)
取締役	岸田 駿也 (峰山町)
	沖田 康彦 (網野町)
	中江 平治 (丹後町)
	今度 勝 (弥栄町)
	小國 猛 (久美浜町)
	金久 和幸 (市企画政策部長)
	池田勇一郎 (市総務部長)
監査役	東 幹夫 (丹後町)
	富田 浩平 (弥栄町)

「京丹後市総合サービス株式会社」 本店 弥栄庁舎2階 (弥栄町溝谷)

経営理念	高品質のサービスを提供することによって、京丹後市の発展と市民の生活の質の向上に貢献する
基本方針	市の発展と市民の生活の質の向上に貢献するために ◆市民の生活の質を高めるための事業の展開 ◆郷土を愛する人材の育成・確保による高品質のサービスの提供 ◆質の高い心のかようサービスの提供
行動目標	◆市民に評価される京丹後市総合サービス株式会社 ◆私たち自身がやりがい、誇り、夢の持てる京丹後市総合サービス株式会社をめざして、日々研さんに努め「高品質のサービス」を提供します
行動規範	1. 市民志向 地域の文化、慣習を尊重し、地域に根ざした企業活動を通じて、経済・社会の発展に貢献する 2. 個の尊重 相互信頼・責任を基本に、個人の創造力とチームワークの強みを最大限に高める企業風土をつくる 3. プロフェッショナル 職務の専門性を高め、住みよい地域と豊かな社会づくりに取り組む

市民のみなさんに「おつらさ大切にしていただき」

「京丹後市自殺ゼロ実現推進協議会」を設立

市では、かけがえのない生命を、自らの手で絶たなければならぬという痛ましい事件が後を絶たない中、自殺対策を特に重要な課題と位置づけ、市内の関係機関などと連携し「自殺ゼロ」のまちづくりに実現するため、「京丹後市自殺ゼロ実現推進協議会」をこのたび設立しました。

自殺の現状

警察庁の統計データによると、自殺による死亡者は平成九年までは、全国で二万五千人前後で推移していましたが、

京丹後市自殺ゼロ実現推進協議会 構成団体 (順不同)

- 丹後労働基準監督署
- 京都地方法務局京丹後支局
- 京都府丹後保健所
- 京都府京丹後警察署
- 北丹医師会
- 京丹後市民生児童委員協議会
- 京丹後人権擁護委員協議会
- (福)京丹後市社会福祉協議会
- 京丹後市老人クラブ連合会
- 京丹後市連合婦人会
- 丹後商工会協議会
- 京丹後ひまわり基金法律事務所
- 京都司法書士会京丹後支部
- 京丹後市教育委員会
- 京丹後市消防本部
- 京丹後市

参加 (福) 京都いのちの電話

平成十年以降は、八年連続で年間三万人を超える状況になっています。そのような中、国では平成十八年三月に、今後十年間で自殺による死亡者を平成十年の急増以前の水準に戻すための取り組みが強化されることになりました。また、平成十八年六月には議員立法による「自殺対策基本法」が制定され、国および地方公共団体などの責務が明確にされるなど、自殺対策の推進強化が図られることになりました。

京丹後市においても、平成十四年・十五年とも自殺による死亡者が二十一人にのぼり、これを人口十万人に換算すると三十二人となり、全国平均の二十五人を大きく上まわるなど、本市にとっても看過することのできない重要な課題となっています。

関係機関が連携 自殺ゼロ実現推進協議会

自殺は、さまざまな社会的要因がその背景にあることから、予防対策を推進するためには実態を把握し、地域全体の課題として関係機関、団体などが連携して、迅速かつ的確に対応することが求められています。

そこで、市では、さまざまな機関との緊密な連携・相互協力により「自殺ゼロ」のまちづくりを実現するため、市内の十六団体で組織する「京丹後市自殺ゼロ実現推進協議会」を立ち上げ、全力を上げて取り組んでいきます。

庁舎内にも横断的組織 連絡会議を設置

市では、同協議会の設立に加え、自殺の原因や動機はさまざまであり関係部署も多岐にわたるため、庁舎内の連携・協力を緊密に行う「京丹後市自殺ゼロ実現連絡会議」も設置し、自殺予防対策を推進していくこととしました。



京丹後市自殺ゼロ実現推進協議会では、連携を密にし、全力を上げて取り組んでいくことを確認

同会議では、▽予防対策に活かすため、他機関と連携し自殺および未遂の実態を把握
▽奄美方式と言われる、さまざまな相談に応じる、専門相談窓口の設置
▽「うつ病」などに関する正しい知識の普及や心の健康づくり事業の実施
▽「いのちの電話」をはじめとした専門機関との連携による相談支援体制の整備
▽精神保健の専門員や相談員などを配置した相談窓口の開設
などについて、各部署が横断的・多角的に検討し、総合的な対策に取り組んでいくこととしています。

望まれる早期の

高速道路網の整備を

強く要望

冬柴鐵三国土交通大臣

宮田年耕国土交通省道路局長

京丹後市・舞鶴市・宮津市・与謝野町・伊根町で構成する「丹後・地域高規格道路推進協議会」（会長・中山京丹後市長）は、十一月九日、冬柴鐵三国土交通大臣、谷垣禎一衆議院議員をはじめ、宮田年耕国土交通省道路局長など関係者を訪ね、高速道路網の整備について強く要望を

行いました。要望内容は、
 ■地域高規格道路「鳥取豊岡宮津自動車道」の▽整備区間（宮津―野田川間）の早期完成、▽整備区間（野田川―大宮間）の事業促進、▽調査区間（大宮―網野間）の早期整備区間への格上げ、▽無指定区間（網野―豊岡間）の早期調査区間への格上げ、▽整備を促進するための予算確保

の課題であることを強調し、早期整備を強く要望しました。
 冬柴国土交通大臣は「精一杯がんばりたい」と、また宮田国土交通省道路局長も「丹後地方が道路を必要としていることを承知しました。私たちとしてもがんばりたい」とお二人とも重要性に理解を示されるとともに、国としても整備に力を注いでいくことを約束していただきました。



冬柴国土交通大臣（右）に高速道路のネットワーク化の重要性を主唱する中山京丹後市長



■「京都縦貫自動車道」の丹波綾部道路（約二六・六キロメートル）の早期整備
 中山市長は「地域産業や生活の面からも要望している道路は、丹後地域の生命線。また、近畿自動車道敦賀線を含む高速道路のネットワーク化により、北陸・名古屋圏へのアクセスも広がる。地元市町としても最大限の支援・協力をします」と喫緊



丹後が一丸となり高速道路網の早期整備への熱い思いを伝えました

丹後地域での幹線道路網の整備状況は、鳥取市から豊岡市を経て京丹後市・宮津市を結ぶ延長約一二〇キロメートルの地域高規格道路「鳥取豊岡宮津自動車道」については、現在、宮津―野田川間（宮津野田川道路）で工事が進められ、同区間の半分以上を占め府内では二番目の長さ（三・六キロメートル）となる第十二トンネルの避難抗が、平成十八年十月に開通するなど早期完成に向け着実に前進しています。さらに、今年度から宮津市須津―大宮町森本を結ぶ「野田川大宮道路」（四・三キロメートル）が事業化されました。
 また、京都府の南北を結ぶ「京都縦貫自動車道」（京都市から宮津市までの延長約一〇〇キロメートル）は、約六三割が完成し、引き続き沓掛―大山崎、丹波―綾部間において整備が進められ、全線が開通すれば、京都から宮津までの所要時間は現在の約半分（約九〇分）になります。
 しかしながらその完成はまだ遠く、京丹後市から全国へとつながる高速道路ネットワークの早期形成が強く望まれています。
 市では、「鳥取豊岡宮津自動車道」と「京都縦貫自動車道」の早期整備を最重要課題と位置づけ、近隣市町と一体となり国や京都府に対して要望活動を精力的に行うなど、一日も早い完成をめざし、さまざまな取り組みを行っています。

「府道間人大宮線バイパス区間」が開通

通行車両や歩行者の安全性などから、早期の完成が強く望まれていた「府道間人大宮線バイパス区間」が、十一月十七日に開通しました。

「間人大宮線」は、丹後町間人を起点として、大宮町周枳に至る総延長約一五キロメートルの一般府道で、国道三一二号と国道四八二号を補完する主要な道路となつていきます。

しかし、本事業区間は、幅員が狭小であるとともに、両側に人家が連担しており、車両の離合も困難であることから、地元地区の強い要

望もあり、平成十二年度から峰山町内記地内で工事延長一、一〇〇メートルの新たなバイパス整備を進めていたものです。
 今回供用を開始した七八〇メートル区間は、幅員八メートル（車道六メートル）、既に供用を開始している三二〇メートルを含めた事業費は約二億六千万円。

今回の供用開始により、交通車両や歩行者の安全性が向上するとともに、交通の円滑化により、地域間交流の活性化が大いに期待されます。

安全確保・地域間交流に期待



念願の開通により、安全性の向上とともに地域間の交流の活性化が大いに期待されます

小型除雪機を地域へ貸与し安全な市民生活を確保

市では、大型除雪機が入ることができない市道などの除雪の充実を図るため、地元自治会に小型除雪機を配置し、市民のみなさんと協働による除雪作業の推進を図っています。

この取り組みは、冬季の安定した安全な市民生活の確保を目的に、狭小な市道や高齢者世帯の除雪、また通学路の除雪などの充実を図るもので、昨年度に引き続き実施。

市では今年度、乗用型（三ト）で除雪幅一・五メートルのホイールロード六台と、歩行型で除雪幅一メートルの自走式除雪機六台に加え、辺地対策事業による乗用型（一・五ト）で除雪幅一・四メートルの小型ロータリー二台の計十四台を購入。各地区からの貸与希望をもとに、地域の状況を総合的に勘案し、十三の自治



貸与式には、各区の役員のかたなどが出席され、安全を第一に協力を呼びかけました



事故のないよう、運転操作を真剣に学びました

会に貸し出すこととしました。
 十一月二十七日に、網野庁舎駐車場で行った「小型除雪機貸与式」には、各地区の区長さんや役員のかたをはじめ、関係者約五十人が出席。
 大村建設部長が「市民のみなさんと協働による冬季の安全確保を今後進めていきたい。無理をすることなく安全を第一に考えて作業にあたってください」と協力を依頼するとともに、除雪機の鍵を手渡しました。引き続き運転操作の指導を行った後、さっそく各地区に配備し、白魔に備えました。



発足にあたり、市のボランティア活動の活性化に協力を呼びかけられた 福永 孝宣会長

市内のさまざまな分野で活躍されるボランティアのみなさんが、各町の枠を超え連携し、さらなる社会福祉の向上をめざす「京丹後市ボランティア連絡会」（七十九グループ・一千五百七十四人、個人ボランティア二十一）をこのたび発足されました。市内のボランティアのみなさんは、それぞれのまちのニーズ（要求）にあった取り組みを積極的に進められるとともに、各町ごとに組織された連絡協議会や連絡会において連携や交流を深められてきましたが、広域連携の重要性や、さらなる活動の活性化の観点から、市域全体でのネットワーキングづくりについて検討を進められてきました。

十一月十八日に、峰山総合福祉センター（峰山町杉谷）で開かれた「発足会」では、会長に福永孝宣さん（峰山町ボランティア連絡協議会）、副会長に伊藤修一さん（弥栄町ボランティア連絡協議会）などの役員を選任するとともに会則などを確認。福永会長は「今後の活動はみなさんと協議して進めていきますが、住みよい、安心・安全な京丹後市をめざすとともに、地域のみなさんに愛されるボランティア活動を進めていきたいと思います」と協力を呼びかけられました。また、「発足会」に引き続き開かれた「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり研修会」には、市内で活躍されるボランティアのかたや福祉委員、民生委員児童委員のかたなど約二百七十人が参加。佛教大学社会学部の浜岡政好教授が「住民パワーでまちがいきいき」と題して講演され、「自分たちのまちの福祉は、自分たちでつくる」ことが大前提であり、人それぞれの見方・見え方が違うため、強要することなくそれぞれが活動することにも、連携することによりその力は何倍にもなる」と多くの事例をあげてわかりやすく説明されました。さらに、市内で人と人を結ぶふれあいの場を大切にしたい「サロン」活動を実践されているボランティアのかたの発表も行われるなど、市の福祉向上へ情報を共有することを誓いました。

各町の枠を超え 地域性を活かしたネットワークづくり 「京丹後市ボランティア連絡会」が発足

ボランティア



田中 一さん

援護事業功労者として、田中一さん（久美浜町新谷）が「厚生労働大臣表彰」を受賞されました。田中さんは、昭和六十三年四月から平成四年三月まで京都府遺族会熊野支部青壮年部長を、平成五年四月から現在まで同支部長を、また平成五年五月からは京都府遺族会理事を務められるなど、永年にわたって戦傷病者のかたや戦没者のご遺族のかたなどの援護に献身的に取り組まれています。その間、豊富な知識を基に、きめ細やかにご遺族の相談活動にあたられるとともに、組織の充実にも精力的に力を注がれてこられ、これまで京都府遺族会長表彰（平成十五年）、京都府知事表彰（平成十七年）を受賞されるなど、同組織の要として活躍中で、その顕著な功績が認められ受賞されたものです。

援護事業功労者として 厚生労働大臣表彰を受賞 田中 一さん（久美浜町新谷）

「京丹後市共同募金会」（会長・中山市長）が、11月10日に開かれた「全国社会福祉大会」の席上で「優良地区表彰」を受賞しました。同表彰は、府内では本市募金会と相楽郡の2地区のみが受賞。平成16年度は台風23号の影響もあり、募金額が大幅に減少しましたが、市民のみなさんのご協力により平成17年度には災害の困難を乗り越え、募金実績を回復したことが高く評価され受賞したものです。

全国社会福祉大会で 優良地区表彰を受賞 京丹後市共同募金会

保育所の適正配置と充実に向けて 「京丹後市保育所再編等推進計画」を策定

市では、低年齢児保育に代表される保育需要の变化や、保育所の小規模化、施設の老朽化などに対応するため、市立保育所の統廃合や民営化などを盛り込んだ「京丹後市保育所再編等推進計画」をこのたび策定しました。市立の保育所は、合併前の六町で設置されていた保育所をそのまま引き継いだことにより、現在二十九保育所一分園となっています。そのような中、市立保育所では、急激な少子化によりそのいくつかにあわせて小規模化が進み、一方では、就業形態や家庭環境の変化などにより乳幼児保育の需要が急増するなど、保育をめぐる状況が大きく変化するとともに、保育所施設もその多くが昭和五十年前後に建築されたものであり、一部で老朽化が進んでいます。同計画は、保護者のみなさんや職員などを対象に延べ三十回にわたって意見交換会を開くとともに、市の福祉の充実や健康づくりについて市民の目線で審議する「健康と福祉のまちづくり審議会」での慎重な協議を経て策定したものです。同計画では、将来にわたり子どもたちにとってよりよい保育を保証するため、地域の特性に配慮しながら、小規模保育所などの統廃合および社会福祉法人への運営委託などを具体的に進めていくもので、平成十八年から当面平成二十二年度までの五年間を計画年度としていますが、終期を定めることなく、毎年度見直ししていくこととしています。また、計画の具体的な推進にあたっては、保育所の保護者のかたをはじめ、地域のみなさんとの意見調整が第一であり、さまざまな説明・協議の場において、十分な話し合いの機会を確保していくこととしています。

保育所再編

計 画 別	該当保育所	方式など	目標年度	概要など
大宮北（仮称）統廃合	河辺保育所 善王寺保育所 （口大野保育所）	○方式：統廃合 ○内容：延長保育、乳幼児保育、相談活動の充実	概ね平成20年度～22年度	○施設新設 ○口大野保育所の取り扱いについては地元の意向に配慮する
神野・田村・湊統廃合	神野保育所 田村保育所 湊保育所	○方式：統廃合 ○内容：延長保育、乳幼児保育、相談活動の充実	概ね平成20年度～22年度	○施設新設または増改築
久美浜改修	久美浜保育所	○方式：改修 ○内容：延長保育、乳幼児保育、相談活動の充実	概ね平成19年度～22年度	○屋根漏水対策および乳児保育室改修
野間統廃合	野間分園 （黒部保育所）	○方式：募集停止（廃止） ○内容：延長保育、乳幼児保育、相談活動の充実	概ね平成19年度～20年度	○黒部保育所への入所（通所）を想定。弥栄町域の将来的な保育所のあり方についても検討 ○黒部保育所乳幼児保育室改修
吉野統廃合	吉野保育所 （溝谷保育所）	○方式：募集停止（廃止） ○内容：延長保育、乳幼児保育、相談活動の充実	概ね平成20年度～22年度	○溝谷保育所への入所（通所）を想定。弥栄町域の将来的な保育所のあり方についても検討 ○溝谷保育所通所道路の改良
和田野統廃合	和田野保育所 （溝谷保育所）	○方式：募集停止（廃止） ○内容：延長保育、乳幼児保育、相談活動の充実	概ね平成20年度～22年度	○溝谷保育所への通所を想定。弥栄町域の将来的な保育所のあり方についても検討 ○溝谷保育所通所道路の改良
宇川統廃合	上宇川保育所 下宇川保育所	○方式：統廃合 ○内容：延長保育、乳幼児保育、相談活動の充実	概ね平成19年度～20年度	○いずれかの募集停止（廃止） ○乳幼児保育室改修
間人移転など	間人保育所 （豊栄保育所）	○方式：移転	概ね平成21年度以降	○移転先の検討 ○将来的に豊栄保育所との統合検討
民間移管または委託	市街地保育所 2か所程度	○方式：社会福祉法人への移管または委託 ○内容：夜間保育、休日保育などの充実	概ね平成19年度～22年度	○18年度中にガイドラインを策定し、ガイドラインに沿って実施
幼保一体化	統合保育所など	○方式：保育所施設を利用した一体化	概ね平成19年度～22年度	

京丹後市水酸化計画を策定

浄化槽区域は、市設置型浄化槽で整備

市では、「京丹後市上下水道事業審議会」に諮問し、下水道計画の見直しを行ってきましたが、平成十八年九月の同審議会からの答申を踏まえ、「京丹後市水酸化計画」をこのたび策定しましたので、その概要をご紹介します。

一般的に家屋が密集している地域においては、「個別処理」より「集合処理」にするほうが、建設費とその後の維持管理費の合計は安くなります。今回の見直しでは、この費用について統一的に比較できる基準を用いて処理区を設定しました。

また、作成した「水酸化計画」の案について、パブリックコメントにより、広く市民のみなさんご意見を聞くとともに、地域としての一体感を阻害しないかについて同審議会の答申を踏まえながら慎重に検討し、最終的な整備方法を決定しました。（今回策定しました「下水道計画」は、計画図のとおりです）

● 処理区別下水道普及状況および水酸化状況

事業名	処理区名	普及率	水酸化率
公共下水道	峰山処理区	51.4%	33.1%
	大宮処理区	36.3%	28.8%
	橘処理区	74.6%	40.5%
	網野処理区	0.0%	0.0%
	丹後処理区	93.2%	33.4%
	久美浜処理区	42.9%	45.5%
	計	38.2%	35.1%
農業集落排水事業	三重処理区	100%	44.5%
	森本処理区	100%	60.7%
	成願寺処理区	100%	92.0%
	和田野処理区	100%	92.0%
	黒部処理区	100%	89.6%
	溝谷・吉野処理区	100%	83.9%
	川上南部処理区	100%	68.4%
	佐濃南処理区	0.0%	0.0%
計	88.9%	83.8%	
漁業集落排水事業	砂方処理区	100%	68.5%
	計	100%	68.5%

合併前の各町の計画をそのまま引き継いでいましたが、今回、統一的な基準に基づき計画の見直しを行ったものです。見直しにあたっては、効率的な汚水処理施設の整備を進めるために、経済性を基に「集合処理区域」と「個別処理区域」を設定しました。「集合処理」とは、公共下水道をはじめ、農業集落排水、漁業集落排水など処理施設を一か所に建設し、集中的に汚水を処理する方式です。一方、「個別処理」は、浄化槽を各戸に設置し、それぞれの浄化槽で汚水を処理する方式です。

の竹野・宮において、区域拡大のための変更事業認可を取得する予定です。また、久美浜町の佐濃南処理区については、今年度から新たに事業に着手しています。

「水酸化計画」において、浄化槽で整備することとした区域については、現在、久美浜町で行っています市設置型の浄化槽で整備することになっています。これは、個人の宅地に市が浄化槽を設置し維持管理も市が行うもので、個人のかたは、水道使用量に同じ下水道料金を納めていただくものです。この区域内の浄化槽については、平成十九年度から浄化槽の寄付採納を受けるとともに、平成二十年度からは新たな設置希望の受け付けを予定しています。

なお、平成十七年度末の処理区別下水道普及状況および水酸化状況は右頁のとおりです。快適な生活環境の整備に必要な公共下水道などの事業にご理解をいただき、市民のみなさんの接続へのご協力をお願いします。

京丹後市水酸化計画図



水酸化計画

水酸化計画


地域文化功労者として 文部科学大臣表彰を受賞

中地 誠さん（久美浜町甲山）

文化財保護および普及にご尽力をいただいている、中地誠さん（久美浜町甲山）が地域文化功労者として「文部科学大臣表彰」を受賞されました。

中地さんは、郷土の歴史、とりわけ久美浜町内の遺跡に関する造詣が深く、昭和五十年四月から平成九年三月までの二十二年間の永きにわたり久美浜町文化財保護委員を務められ、その間、平成五年四月から平成七年三月までは同委員会副委員長として、郷土の文化財の保護と活用に積極的に取り組まれてこられました。

また、平成元年四月から平成十六年三月まで京都府文化財保護指導委員として、文化財の適切な保護や管理を図るため、文化財の巡視などに励まれ、その管理状態について、必要な指導、助言を行われ、文化財の保護に多大にご貢献をいただき、それらの功績が高く評価され受賞されました。



中地 誠さん

「丹後第九をうたう会」設立

ベートーベン「交響曲第九番」の歓喜の歌を京丹後の地で響かせようと、「丹後第九をうたう会」の設立総会が、十一月十九日に峰山総合福祉センター（峰山町杉谷）で開かれました。

同会は、文化の薫り高いふるさと「京丹後」をめざし、さまざまな取り組みを行っている「京丹後文化のまちづくり実行委員会」（会長・中山市長）が、平成十九年十二月二十四日に京都市交響楽団を招き開催する「（仮称）市民でつくる第九コンサート」において合唱団として出演していただくかたを公募し、京丹後市内をはじめ、宮津市や与謝野町、遠くは大阪や草津市などから応募された約二百六十人が結成されました。

設立総会には、会員約二百人が出席し、会長に岩崎晃さん、副会長に加藤千春さん、榎田匠さん、廣瀬和男さん、松本経一さんの四人などの役員を選任するとともに、会則

中山市長は「頼もしく、誇らしく感じ、感謝しています」と快挙を讃えました。



「丹後第九をうたう会」の岩崎晃会長（右）、成毛敦音楽監督（左）

市長室 訪問

航空自衛隊 廣中雅之空将補 岡崎 豊二等空佐 前田照義二等空佐

航空自衛隊・中部航空警戒管制団司令（兼入間基地司令）の廣中雅之空将補と、第三十五警戒隊長（兼経ヶ岬分屯基地司令）の岡崎豊二等空佐、中部航空警戒管制団司令部監理部長の前田照義二等空佐が、十一月二十二日に市役所へ来庁されました。

市では、平成十八年五月に経ヶ岬分屯基地と、同基地近傍で火災が発生した場合にご協力いただく「火災出動にかかる覚書」を締結するとともに、「平成十八年七月豪雨」による丹後町間人地域での墓地公園崩落の際には、航空自衛隊にいち早く駆けつけていただき献身的な救出活動にあたっていただいたなど、市の安心・安全なまちづくりの推進に多大なご貢献をいただいています。

中山市長は、「七月豪雨」での救援に対するお礼を述べるとともに、安心・安全なまちづくりさらなる協力を要請し、快諾をいただきました。



中山市長がさらなる協力を要請し、快諾をいただきました（左から）廣中雅之空将補、岡崎豊二等空佐、前田照義二等空佐

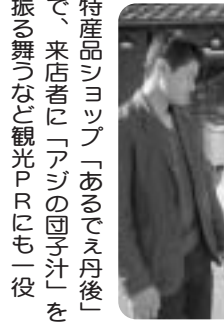
市内で初合宿 観光PRにも一役 京都ファイアーバース

市と包括協力協定を結ぶ社会人野球クラブ「京都ファイアーバース」が、十一月二十三日から二十六日までの四日間、市内で初めての合宿を行いました。

練習の合間に地元出身のメンバーは、十一月にオープンした特産品ショップ「あるでえ丹後」（大宮町三坂）で、道行く車に入店を呼びかけるとともに、来店者に「アジの団子汁」を振る舞うなど、観光PRにもご協力いただきました。

同クラブとしても初めてとなる合宿では、榊原良行新監督のもと、日が暮れるまで練習に打ち込み、最終日には強豪「ハード・ボール・クラブ金沢」と交流戦を開催。また、二十五日には、トライアウト（選手入団テスト）も行われ、京丹後市内の現役高校生を含む三人が合格しました。

特産品ショップ「あるでえ丹後」で、来店者に「アジの団子汁」を振る舞うなど観光PRにも一役



丹後勢で初 全国中学校駅伝に出場 高龍中学校駅伝部男子

高龍中学校（久美浜町新倉）の駅伝部男子のみなさんが、十二月十六日に開催された「第十四回全国中学校駅伝大会」（山口県）に、丹後勢として初めての出場を果たしました。

同部は、十一月十九日の「第五十七回京都府中学校男子駅伝競走大会」（京丹波町）で、有力校を抑え見事三十二年ぶりに優勝の栄冠を勝ち取り出場されたものです。

同部のメンバーは、陸上部をはじめ、野球、バスケット、ソフトテニスに所属する生徒で構成。

各クラブの夏季大会終了後の夏休みから本格的に練習を重ねてきました。

十一月二十八日に、中山市長へ出場報告に訪れたメンバーは「他校と違いエースがいない中、仲間を信じ『全員駅伝』という気持ちでがんばった結果です」と、緊張しながらも中学生らしく礼儀正しい態度で報告。

中山市長は「頼もしく、誇らしく感じ、感謝しています」と快挙を讃えました。

高龍中学校駅伝部	
（敬称略）	
上木 湧登	（3年生）
内田 清公	（3年生）
小國 敦	（3年生）
小井根尚明	（3年生）
山下 大貴	（3年生）
井上 達也	（2年生）
西住 裕高	（2年生）
今井 拓実	（1年生）
岡田龍之助	（1年生）
木村 明広	（1年生）

（前列左から）内田清公さん、山下大貴さん、上木湧登さん、小國敦さん、小井根尚明さん
（後列右から）西住裕高さん、今井拓実さん、井上達也さん、木村明広さん、岡田龍之助さん

紅葉美しい久美浜湾沿いを駆け抜ける、恒例の「久美浜湾一周駅伝競走大会」（京丹後市・京丹後市教育委員会・京丹後市体育協会主催）を、十一月二十三日に浜公園をスタート・ゴール地点とする六区間（一五・六キロメートル）のコースで開催し、健脚自慢の選手が熱戦を繰り広げました。

同大会は、昭和四十年の久美浜町の町制十周年を記念しはじめたもので、今回で四十二回目。今大会には、市内をはじめ岡山県や兵庫県美方郡などから九十五チームが参加。

選手は、沿道から贈られる熱い声援に後押しされ、額に汗し懸命にタスキをつなぎました。

紅葉の中 健脚を競う
久美浜湾一周駅伝競走大会

総合順位	
1	豊岡高校A 47分48秒
2	網野高校HAYATE★ 48分05秒
3	チームへび莓 49分27秒
4	豊岡居酒屋漁珍 49分41秒
5	峰中男子駅伝部A 51分09秒



「地域振興協議会」 市長に地域振興施策を提言

旧6町単位で設置され、まちづくりや教育などについて提言する「地域振興協議会」から、地域の振興施策について提言書をいただきました。各協議会においては、平成16年10月の設置から2年間にわたり、地域の現状や課題について、13回から15回にわたってたいへん熱心に協議を行っていただき、地域の振興施策として取りまとめられました。今回は、弥栄町および網野町の提言書の概略についてご紹介します。なお、市のホームページに、各協議会の提言書を掲載しています。

弥栄町地域振興協議会 提言

野間の地域性から みられるもの

オンラインワンではないが、他所にない、野間の地域、田舎らしさを生かした取り組みが待たれている。

例えば、かつてのスイス村祭りにかわる、野間をPRする取り組みができないのか。野間川の特産物を活用した村おこしがないのか。さまざまな要因があると考えられるが、すばらしい自然を生かした取り組みが待たれている。

地元からは、野間地区に生活物資の店がないこと、積雪時の屋根の雪下ろし対策、農作物への鳥獣被害が大きいこと、人口減で文化財関係の継承が困難となりつつあること、山間部が大型ごみの捨て場となっていること、集落内の環境整備もままならないこと、保育所の統廃合が計画されているが、小学校を含めた教育計画として地元の理解を得ながら進めてほしいなどの意見が出されている。

国営農地開発に みられる取り組み

国営農地開発により、他地域からの新規入植者が十二件を数える。農業を生業としたいかたが現実としておられるわけだが、一方で田畑の荒廃もみられ、農業の後継者不足もみられている。食糧の自給率が全国で四〇割余りの現実ではしかなないが、近い将来、世界的な食糧不足が見込まれ（中国・インド・アフリカ諸国の先進国化に伴う増加が大きい）、国の抜本的な施策の転換を期待せざるを得ない。

手づくりのまちづくりの経験 を今後、どう生かすのか

かつては、スイス村にしても遊歩道や案内看板など、さらに昭和六十三年の京都国体での選手受け入れなど、行政と住民が連携して行ってきた。行政に頼らず、住民主導のまちづくりへ向けての取り組みに、過去の経験、よさを生かす方策を検討すべきであろう。

総合計画では、弥栄地域は「安らぎほのぼのゾーン（医療・福祉・農業）」と「体験ふれあいゾーン（森林・高原）」になっている。本町は、病院もあり、福祉施設が多い地域である関係から、高齢化・過疎化を逆手にとった施策を推進したらよいという意見が十分に生かした施策を展開してほしい。

具体的な構想

■区長制度に代表される自治会制度を生かしたまちづくりを進める。そのため、自助・共助の確認と行政が担う公助との連携に努める。

■福祉施設を増やすこと（安らぎほのぼのゾーン）で、産業や雇用の増進を図り、地域産業の活性化を図る。さらに、自然豊かな環境で生活することは、健康年齢の増進にもつながり、人の生きがいをみつけることになる。

■へき地中核病院としての「弥栄病院」の機能強化。医師確保などさまざまな困難要因も

網野町地域振興協議会 提言

【提言1】 生活環境、生活基盤に関する こと

■下水道について

○家の改造や建て替え計画のあるかたに支障が生じる恐れもあり、早期に実施エリア・施工年次を示し、市民にも理解を求めるなど、水洗化を促進する取り組みを進めること。

○地域によっては、合併浄化槽の設置を数軒単位に市が施工していく方法とし、利用者負担の軽減を図り、公共下水道の料金と同等の料金体系とすること。

○高齢者世帯では、経済的な不安があるため、資金面（資金の借入れ、債務保証など）で特段の配慮を行うこと。

○上水道の取水源である離湖は、水質が悪いため、ほかの町との配水管の連結事業を早急に実現するか、周辺の水洗化を早めてほしい。

■道路について

○地域高規格道路「鳥取豊岡宮津自動車道・宮津網野線」の早期整備を進めること。

○高規格道路のインターチェンジ取り付け区間を早期に確定し、郷く高橋区間のバイパスとして一日も早く着工してほしい。

○中長距離は丹海バスに、短距離は市営バスと合わせるなど、相互に機能を分担しあい総合的な交通体系を構築すること。

○福祉有償運送事業の利用は、医師の診断などを受けて条件を緩和すること。

○地域通貨は、有償運送事業や商店街の活性化、ボランティア活動での活用、バス利用の拡大など、複合的な効果もあると考えられるので、その活用の方策を検討すること。

○防災について

○災害の恐ろしさは、関心をもっているかたでも、月日が経つにつれ意識が薄れるため、市における「防災の日」を設定し、啓発してはどうか。

○テレビ、ラジオの難視聴地域もあり、災害時の情報伝達にも不安がある。情報伝達方法を検討し、ブロードバンドネットワーク事業により、早急に整備すること。

○身体障害者など要支援者への対応、支援づくりを整備すること。

○避難勧告と避難指示の違いを、もつとわかりやすい言葉

■公共交通について

○安全で暮らしやすい地域にするため、公共交通網を整備し、利便性をさらに高めること。

○中長距離は丹海バスに、短距離は市営バスと合わせるなど、相互に機能を分担しあい総合的な交通体系を構築すること。

○福祉有償運送事業の利用は、医師の診断などを受けて条件を緩和すること。

○地域通貨は、有償運送事業や商店街の活性化、ボランティア活動での活用、バス利用の拡大など、複合的な効果もあると考えられるので、その活用の方策を検討すること。

○防災について

○災害の恐ろしさは、関心をもっているかたでも、月日が経つにつれ意識が薄れるため、市における「防災の日」を設定し、啓発してはどうか。

○テレビ、ラジオの難視聴地域もあり、災害時の情報伝達にも不安がある。情報伝達方法を検討し、ブロードバンドネットワーク事業により、早急に整備すること。

○身体障害者など要支援者への対応、支援づくりを整備すること。

○避難勧告と避難指示の違いを、もつとわかりやすい言葉

【提言2】 教育に関すること

■子どもの安全を守り育む り組みについて

○「にこにこカー」（子ども安心パトロール車）を、より以上に活用するとともに、市内全域で通学路に旗を掲げ、パトロールするかたの帽子や腕章、自転車・自動車の安全パトロール標識などを統一し、地域が一体となった取り組みを進め、安全意識が強いまちであることを訴えていくこと。

○子どもが地域を見て回り、安全マップをつくるなど、子ども自身が危険を自覚できるように取り組みを進めること。

○不審者情報は、保護者以外の市民には伝わってこないため、防災行政無線の活用なども検討すること。

■学校教育について

○少子化、過疎化による児童数減少により、近い将来に学校再編が必要になるので、保護者や地域の理解を得ながら、子ども主体の計画案をつくるとともに、老朽施設の整備を進めること。

○小・中一貫校、中・高一貫校など特色ある学校づくりを検討されたい。

■医療・福祉に関すること

○幼稚園・保育所が一体となった施設の検討。

■市民病院について

○医療体制の維持には医師の確保が不可欠である。特に、弥栄病院の医師不足、産婦人科の医師の確保は重要な課題であり、全力で恒久的な確保を図ること。併せて、市全域の医療体制が不足している状況を力パするたため、民間医療機関と市立病院との連携を強化し、より充実した医療が行われるシステムを構築すること。

○夜間診療を希望するかたも多いので、診療時間の拡大を図ること。

■福祉について

○施設サービスは、入所希望の待機者が依然多いため、サービス基盤の整備を図ること。

○医療と福祉の連携機能整備のため、市立病院などが中心となつてネットワークを強化すること。

○要支援、要介護状態への進行を防ぐための介護予防事業や健康づくり、転倒予防、健康運動講座などを積極的に推進すること。

○安心して子どもを生み育てることができる環境整備や、父子家庭への支援策を充実させること。

【提言4】 産業、経済に関すること

■観光について

○市内の観光資源が相互に連携し合い、通年型の多様で魅力的な観光コースづくりと、交通アクセスの改善整備を図ること。

○観光客に丹後産の野菜・果物・海産物を、いつでも気軽に食べられ、買える店舗を商店街に配置する。

○観光パンフレット・マップ・ポスターなどはもとより、インターネット、観光PR誌、ガイドブック出版社・旅行会社へのアプローチなど、多様な媒体を活用したPRを図ること。

■農業について

○有機栽培や低農薬、低化学肥料栽培を積極的に進め、食の安全に配慮した栽培指導と普及を図ること。また、大都市を意識したPR活動や、イベント、インターネットをさらに活用するなど販路開拓や口コミの活用を図ること。

○農業と観光との結びつけを進めるため、客の食材として使用した米、野菜・魚などの生産者の氏名を公開し、直売に活かす取り組みや、旅館近くでの朝市を企画する。

○有望な農業企業と地元農業者とのタイアップによる、丹後ブランド品の開発。

大都市圏で京丹後の魅力をPR



あでやかな「ちりめんファッションショー」が来場者の目を引きつけました

京丹後市の魅力を都市部のかたに広く伝えようと、京都市の新たな情報発信商業施設として若者などに人気のある「新風館」(京都市中京区)で、十一月二十五日・二十六日の二日間、「ラフェスタ京丹後IN新風館」を見て、食べて、飲んで、京丹後は「うまい」と題して、エフエム京都「アーステーション」のバックアップを受け、京丹後市のすばらしさを十二分に発信しました。同事業は、合併によるスケールメリットを活かして京丹後の魅力を発信することにより、都市部からの誘客を増やし地域振興を図ろうと企画。会場では、地酒やカニ、梨、丹後米などの試飲・試食をはじめ、特産品の展示販売などで来場者に直接魅力を伝えるとともに、体験コーナーでは、「鳴

あでやかな「ちりめんファッションショー」が来場者の目を引きつけました。市では、交流人口の増加をめざし、今後も都市部での魅力発信事業を積極的に展開していくことにしています。

き砂」の神秘的な癒(いや)しの音や、「竹炭」を使つての風鈴づくりなどで京丹後を肌で感じていただきました。また、屋外ステージでは、「丹後ちりめんファッションショー」や宿泊券や特産品が当たる「京丹後市クイズ大会」など多彩な催しで存分にアピール。また、同事業に先駆けて十一月十日から二十六日に、新風館内のレストラ



京丹後市内を周遊するボンネットバスも展示するなど、新風館まるごとすべて京丹後市一色に彩りPR

京都市の「新風館」で丹後の「うまい」をPR

中小企業のモノづくりのまちとして脚光を浴びている大阪の多種多様な工業製品を一堂に展示し、新たな顧客や技術連携のパートナー開拓を図る「テクノメッセ東大阪二〇〇六」が、十一月八日・九日の二日間、マイドームおおさか(大阪府中央区)で開かれ、他府県からは初めて「丹後機械工業協同組合」(今西俊明理事長)が出席され、丹後の機械金属業界の高い技術力を存分にアピールしました。全国的にも高い評価のある同イベントは、東大阪商工会議所が主催し毎年開かれていくもので、出展はこれまで、大阪府内の企業などに限られていましたが、今回、新潟県内の業界とともに、他府県の業界団体としては初めて出展。丹後機械工業協同組合からは八社(五ブラス)が、鍛造製品や一般産業用機械部品を展示されました。

会場では、全国各地から二日間約二万人のメーカーやバイヤーなどが集まる中、確

「丹後ハイテクランド」として、優れた鍛造技術や機械加工技術を積極的に売り込まれました

また、同イベントの翌日には、東大阪のモノづくり先進企業二社を訪問し、新たなビジネスチャンスの獲得や今後の業界の発展に向けた取り組みのあり方などについて意見を交わしました。

東大阪の中小企業と連携を開始テクノメッセ東大阪で丹後の機械金属業界の高い技術力をアピール

あなたが選ぶ「2006年京丹後市10大ニュース」

市民のみなさん一人ひとりが一年を振り返っていただくきっかけとともに、京丹後市政に対して理解と関心を高めていただくことを願い募集を行いました「あなたが選ぶ 2006年京丹後市10大ニュース」が決定しました。多くのご応募ありがとうございました。

1 「平成18年7月豪雨」により丹後町間人地域で甚大な被害



丹後町間人地域では、墓地公園の崩落により、お二人のかたが尊い命を亡くされるとともに、多くのかたが避難を余儀なくされました

2 関西電力(株)へ発電所設置のための事前調査の撤回を申し入れ、蒲井・旭地域振興計画(案)を策定、関西電力(株)が久美浜原子力発電所立地計画の中止を回答



蒲井浜

3 久美浜高等学校の野球部員4人が甲子園で始球式



水路に落ちて骨折された高齢者のかたを救助したことが高く評価され大役に指名されました 京都新聞提供

4 弥栄病院・産科外来を再開



京都府ならびに関係機関、医師のご協力のもと、京都府の「医師バンク制度」を初めて活用し、弥栄病院の産科外来を再開しました

5 愛情の絆で走る「子ども安心パトロール車(にこにこカー)発進



民間企業の多額の寄付を受け導入した「にこにこカー」

6 心身ともに健全な子どもを育むため、小・中学校、幼稚園、保育所の敷地内を全面禁煙へ



7 弁護士常駐の「京丹後ひまわり基金法律事務所」が開所



7 低額・便利な公共交通網をめざし、低額(上限200円)運賃バスの実証運行を開始



9 救急用ヘリコプター一時発着場を初めて確保



日本海側最大の前方後円墳 網野銚子山古墳

十大ニュース

あなたの健康
応援します



検診における眼底写真

ある晴れた日の朝、おじいさん眼科先生と二十歳になったばかりの孫娘が一緒にご飯を食べていました。あれ？そのときの会話が聞こえてきましたよ。

孫「おじいちゃん。このあいだ会社の検診があつたんだけど、このとき目にピカッと光を当てられたよ。あれって何をしてくれたのかなあ？」
じい「眼底写真を撮つてもらつたのかい？」

孫「そうそう。そんなこと検査の人がいつていたよ。いつたいそれで何がわかるの？」
じい「目は心の窓って言うだろ。実は心で何を考えているか目の中に書いてあるのじゃ。それが見えるんじやよ」

孫「え！ほんと？」
じい「うそじゃよ。そんなことありえんよ。がはは。実

大というのが返ってきたらその疑いがあるということじゃな」
孫「そういえば、会社の部長がそんなことぼそつて言つてたよ。そんな結果だから、今度眼科に詳しくみてもらうために会社休むつて」

じい「それから、また血管を見るとその人の脳みその中の血管の状態が、ある程度わかるのじゃ。もともと目というのは、人間がお母さんの中で卵から人間の形になるときに脳みそから伸びてきたものでいうなれば脳みその一部分なんじや。血圧が高かつたり、動脈硬化が強かつたりしてもその血管に現れてしつかりわかるのじゃよ」

孫「へーそうなんだ」
じい「また網膜が出血しているのが写つていれば、糖尿病で起こつたかもしれないし、はな、その検査、目の奥（眼底）の神経や血管を写しているのじゃよ」
孫「じゃあそんな写真を撮つてそれを見て何がいったいわかるの？」
じい「いい質問じゃな。詳しくはな、（と言つておじいさんは、孫娘のために図を描きだしました）視神経という神経が集まつたところがあつて、ここから動脈と静脈という血管が伸びていて、それに囲まれるように黄斑（おうはん）部というものを見るのに一番大切なところがあるのじゃ。それらを写しているのじゃよ。視神経は、凹みがあつて、その凹みが大きくなると神経が痛んでいる証拠になるのじゃ。これは緑内障という病気に多い所見じゃ。検査の結果で、視神経陥凹（ぼつ）の拡



弥栄病院・眼科
高原 誠治医師

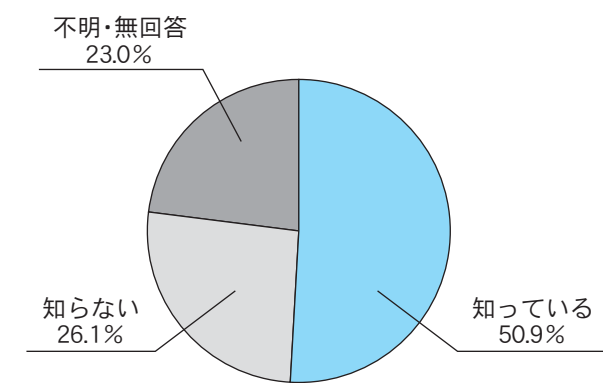
血管が詰まつて起こつたかもしれないし。また黄斑部というところが痛んでいると...」
孫「ピカッと写真を撮るだけで、いろいろなことがわかるんだね」
じい「途中で話の腰を折るな。まあここでは、語り尽くせないくらいいろいろな病気がわかるのじゃな。ただ写真だから写り方もときとしてムラがあつて正確にわからないことも往々にしてあるから、疑いがあると云われれば眼科を受診することじゃ」

孫「じいちゃん、ほんと物知りだね」
じい「当たり前じゃ。それを昔仕事にしておつたんじやからな」

孫「それくらい物知りなのに、なんで生けている花を見るとどれでも『これチューリップなのか』って聞くの？」
じい「そういえばみんなが喜ぶかなって思つて...」
孫「????」
「そんなこんなで、おじいさんと孫の楽しい朝の食事の時間が過ぎていくのでした。」

Q 飲酒の適量は、日本酒に換算して1日に1合程度ということを知っていますか

「飲酒の適量は、日本酒に換算して1日に1合程度ということを知っていますか」と尋ねたところ、「知っている」が50.9%と5割を占め、「知らない」の26.1%より高くなっています。



この問いを男性の年代別で見ますと、「知っている」という回答は50歳代、60歳代、70歳以上でそれぞれ6割以上と高くなっています。一方「知らない」という回答は、30歳代で51.4%と高くなっています。

また、女性の年代別では、「知っている」という回答は40歳代、50歳代でそれぞれ52.6%、58.8%と高くなり、「知らない」という回答は20歳代で69.5%と高くなっています。

目安

日本酒 1合 (180ml) を換算すれば	
=ビール大ビン	: 1本 (633ml)
=焼酎	: 0.5合 (約60ml)
=ウイスキー	: シングルで2杯、ダブルで1杯
=ワイン	: 1合 (180ml)

「アルコール類をどの程度飲みますか」と尋ねたところ、「飲まない」が31.0%と最も高く、次いで「毎日飲む」が20.5%、「ほとんど飲まない」が19.7%となっており、「毎日飲む」と「(ほとんど) 飲まない」に二極化される傾向がみられます。この傾向を性別で見ますと、男性では「毎日飲む」という回答が多く、女性では「ほとんど飲まない」、「飲まない」という回答が多くなっています。

また、「節度ある適度な飲酒」の知識のあるかたの割合をみますと、全国の実績値（平成15年国民健康・栄養調査）では、男性が48.6%、女性が49.7%であるのに対し、京丹後市では男性が59.3%と高く、女性が44.7%と低くなっています。

※このアンケート調査のすべて設問は、市のホームページの「健康ステーション」に「京丹後市健康増進計画アンケート調査の結果概要」として掲載していますのでご覧ください。

21世紀の本格的な高齢化社会をだれもが健やかで心豊かに生活できる活力ある社会とするために、「健康増進法」が平成14年8月に制定され、全国の自治体においては健康づくりのための「地方計画」をつくることとなりました。

京丹後市においても、住民のみなさん一人ひとりが幸せな人生を実感できる健康づくりを実現していただくために、各種健康づくり事業の充実や環境整備などを盛り込んだ「健康増進計画」を策定することとしており、その一環として、昨年12月に健康に関するアンケート調査を実施しました。

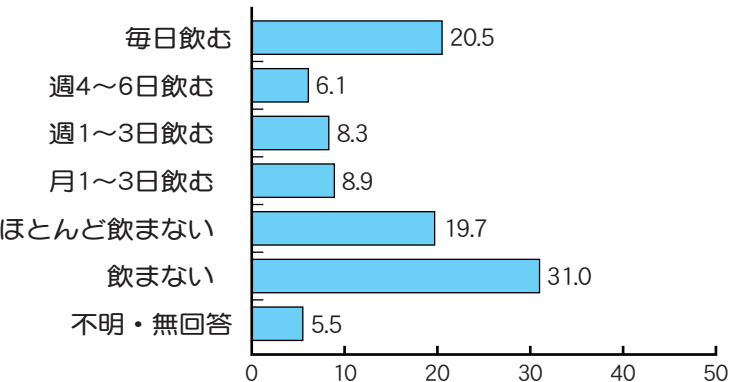
今回は「飲酒」についての設問の中から概要をご紹介します。

健康増進計画アンケート調査 結果の概要 ⑤

- 対象者および抽出方法
市内に在住の成人男女 3,000人（無作為抽出）
- 調査期間 平成17年12月1日～12月15日
- 調査方法 郵送による配布・回収
- 回収結果 1,738人/3,000人
- 回収率 57.9%

Q 現在、酒やビールなどのアルコール類をどの程度飲みますか

「現在、酒やビールなどのアルコール類をどの程度飲みますか」と尋ねたところ、「飲まない」が31.0%と最も高く、次いで「毎日飲む」が20.5%、「ほとんど飲まない」が19.7%となっています。



この問いを男性の年代別で見ますと、「毎日飲む」という回答は40歳代、50歳代、60歳代でそれぞれ43.0%、40.2%、49.1%と高くなっています。

また、女性の年代別では、どの年代においても「ほとんど飲まない」と「飲まない」との回答が高くなっています。

乳がんについて 知っていますか？

日本の乳がんの事情

乳がんの急増
日本でも、乳がんは増加の一途をたどり、特に女性の壮年層（三十歳～六十四歳）のがん死亡原因の第一位となっており、また患者数も年々増えています。

患者数の推計では、毎年、新たに約三万五千人が患者になり、女性のがん罹患数では、乳がんがトップです。ほかの

がんと比べて治りやすいがんですが、患者の三割が再発（転移）し、残念ながら年間約一人のかたが亡くなっています。二十歳代を過ぎたあたりから急に増えはじめ、四十五歳～四十九歳のピークまでうなぎのぼりで、乳がんは若い年代に罹患するのが特徴です。

乳がんの症状
乳がんは、乳腺に発生する悪性腫瘍です。乳がんにもさまざまなタイプがありますが、発見につながる所見は、「しこり」が最も多くなっています。

発見されるとき
主な所見や症状

- しこり
- 皮膚の陥凹（ぼつ）・えくぼ・ひきつれ
- 乳頭の陥凹（ぼつ）・ひきつれ
- 乳頭・乳輪のしっしん・びらん
- 乳頭からの分泌液

早期発見の重要性
早期に発見して治療した場合、九割近くのかたが、治療（ちゆ）したと同じ状態になるというデータが示されています。

発見が早いほど、治療の選択の幅もひろがり、その後の生活や生き方にも影響してきます。

の検診廃止を提言しました。しかし、すでに示したように二十歳代、三十歳代で乳がんが発見されるかたもいることから、京丹後市では独自に、三十歳代の視触診による乳がん検診を実施しています。

検診の内容

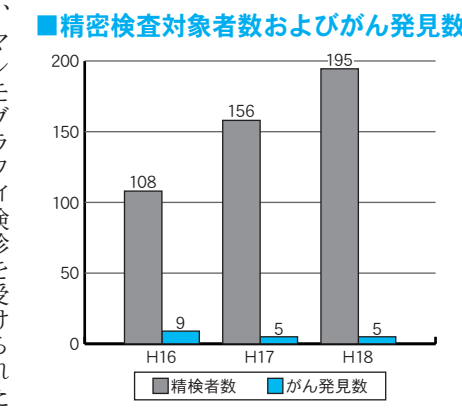
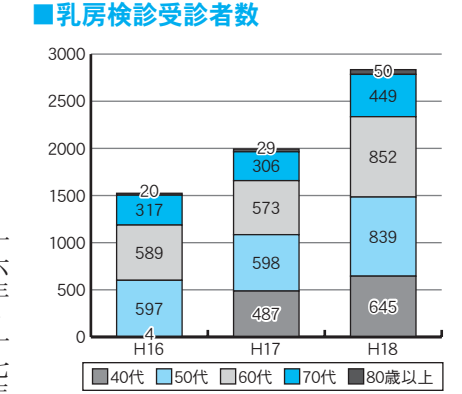
定期検診では、「問診」・「視診」・「触診」・「画像検査」を行います。画像検査は、早期発見に必要なとされていますが、長所と短所があり、話題のマンモグラフィ検査も万能ではありません。特徴を知って受ける必要があります。

画像検査

＜マンモグラフィ検査＞とは
乳房専用のX線撮影装置を使った検査で、乳房を片方ずつ、プラスチックの板ではさんで圧迫し、乳房を平らにして縦横の二方向から撮影します。視触診ではわからない、ごく早期の小さながんをみつけることができます。

撮影は、四十歳代で左右二枚ずつ（斜めの角度・上下方向）、五十歳以上が左右一枚ずつ（斜めの角度のみ）を行います。四十歳代は、五十歳以上と比べて乳腺が発達しているかたが多いため、より正確

京丹後市の乳がん検診の様子



十六年・十七年に、マンモグラフィ検診を受けられたかたのうち、四十歳代二人、五十歳代五人、六十歳代六人、七十歳代一人で乳がんがみつかり、手術などにより治療を受けています。また、今年度も五人、がんのかたがみつかっています。（平成十八年十二月一日現在）

な写真を撮るために二方向の撮影を行っています。
圧迫は、乳房を薄くすることで内部の様子を鮮明に写すためと、放射線の被ばく線量を少なくするために重要です。マンモグラフィでみつかるがんの七〇％以上は早期がん

で、早期がんなら乳房の形を残す乳房温存手術を受けることもできます。

■ 長所
■ 超早期の発見
小さなしこりや乳がんの初期症状である「微細な石灰化」を写し出し、超早期に発見することができま

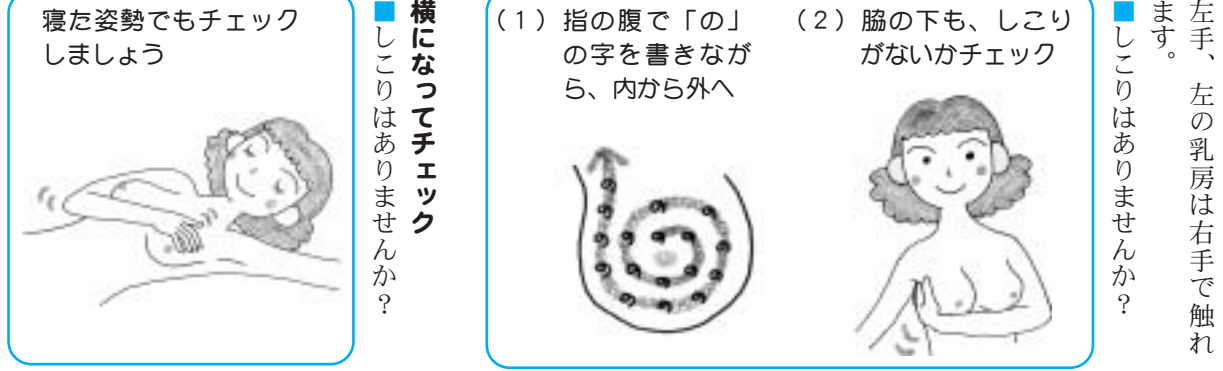
■ 短所
■ 乳房を挟むときは、痛い
乳房を圧迫して、できるだけ薄く引き延ばします。少ない放射線ですこりをはつきり写すためです。

■ 微量の放射線被曝がある
一回の撮影で浴びる量は、東京からニューヨークへ飛行機で行くときに浴びる自然の放射線量と同じぐらいと言われています。ただし、妊娠中は、検査を受けられません。

■ 四十歳未満の乳房では、しこり発見が難しい
若い乳房は、乳腺が発達していて濃度が高いため、乳房

全体が白っぽく写り、しこりが隠れて発見しにくくなります。

自己検診について
女性は、二十歳になつたら、自分の乳房としっかり向き合いましう。生理がある間は、女性ホルモンの変化で、毎日乳房も変化しています。自分の乳房をチェックする習慣をつけておくと、いつもと違う変化もすばやく見つけることができます。乳がんは、自分でも見つけることができる唯一のがんです。自己検診の仕方



入浴時にチェック
石けんをつけて、指の腹で触れてみましょう。右乳房は左手、左の乳房は右手で触れます。

しこりはありますか？
横になってチェック
しこりはありますか？

寝た姿勢でもチェックしましょう

自分でしこりや異常をみつけたら
すぐに「乳腺外科」を受診
自分でしこりや異常をみつけたら、乳腺専門医がいる「乳腺外科」か「外科」を受診してください。

そのまま放置しないこと！
自分でしこりや異常をみつけても、乳がんが診断されるかたは、一割ぐらいの割合です。また、検診で異常がなくとも、次の検診までに乳がんが見つかることがあります。これを「中間期がん」と言いますが、これまでの視触診による検診では、中間期がんは約三〇％ですが、マンモグラフィによる検診では一〇％に減少しますが、まったくないとは言いません。

自分で異常をみつけたら、自己診断せず、かならず専門医を受診しましょう。「こわいから」、「仕事が忙しいから」：などと理由をつけて後回しにしてはいけません。もしも、乳がんであったとしても、発見が早いほど治療はやりやすくなります。自分のからだは、自分で大切にしましょう。

■ 市内でマンモグラフィによる検査の可能な医療機関
● 丹後中央病院
● 丹後ふるさと病院


救マーク認定事業所

11月9日に、下記の35事業所に交付しました。

- 峰山ショッピングセンターメイン
- 京都府丹後文化会館
- 峰山地域公民館
- 峰山図書館
- 国民年金健康センター丹後おおみや
- 京丹後市社会福祉協議会 大宮支所
- あゆみが丘学園
- 丹後あじわいの郷
- 丹後あじわいの郷 ゆーらびあホテル
- 丹後地域地場産業振興センター
- 浅茂川温泉 静の里
- 海花亭紫峰閣
- 佳松苑
- 株式会社浜観「外湯 花ゆうみ」
- 坂本屋 瑠璃亭
- 碧翠御苑
- ホテルリゾーピア久美浜
- みなと悠悠
- 久美浜温泉 湯元館
- 特別養護老人ホーム 海山園
- 宇川温泉 よし野の里
- 宿房漁火亭
- うまし宿とト屋
- 有限会社東喜荘 海雲館
- 有限会社炭平旅館
- はしうど荘
- おしゃれサロン エミー
- おしゃれサロン エミー 在宅美容サービス部
- 各市民局
- 峰山総合福祉センター

順不同・敬称略

「救マーク」を取得して



国民年金健康センター
丹後おおみや
センター長
田中 哲夫

今回、少しでも安心して当施設をご利用いただけるようにと思い「救マーク」の認定事業所に申し込みました。不幸にもお客様に何かあったときには、その助けになればと思います。「救マーク」の認定事業所になって緊張しますが、少しでもご利用していただくお客様に安心をお届けできるようにがんばりたいと思います。

「救マーク」の認定を受けるには

消防本部が行う上級救命講習（八時間）を修了した従業員のかたが営業時間内に一人以上常駐し、救急患者が発生した場合の連絡役や応急手当役などの救急活動計画書を作成しなければなりません。

有効期限があります

救マークの交付を受けてから一年です。認定事業所の救マーク更新については、交付日から一年を経過するまでに上級救命講習を修了した従業員のかたが、普及講習を受講することが必要となります。

さらなる普及に向けて

今後も応急手当普及のために、計画的に「普通救命講習会」や「上級救命講習会」を開き、その中で「救マーク」認定事業所も増やしていきたいと考えています。

市民のみなさんの日常の暮らしだけでなく、観光に訪れたかたにも安心していただけるまちづくりのために、応急手当の普及はとても大切なことです。



救急一ロメモ

餅で窒息


～気道異物～

異物は、存在するはずのないものが体の中にあつて、それが何かの症状を引き起こすものです。

のどや気道に物を詰める代表的な異物といえば、餅やあめ玉、豆類、魚の骨などです。のどの扁桃（へんとつ）腺あたりによく刺さる魚の骨は、生命に危険をおよぼすことはまれですが、気管の中に入った異物は、気道異物となつて呼吸困難を生じて窒息し、死に至らしめる重篤な症状ですので周囲にいたかたの緊急の応急手当が必要です。

食事をしている際に苦しみだし、のどをかきむしるような仕草を目撃したら、直ちに手のひらの付け根部分で背中（両肩甲骨の間）を四〜五回強く叩いて吐き出させてください。

今の季節は、お餅を食べる機会が多くなります。高齢者のかたは誤嚥（ごえん）をしてしまう可能性が高いため、少しづつゆつくりと食べるほうがよいです。気道異物は周囲の心配りで予防できるものと思います。



救急救命士
吉岡 昌俊

ご存知ですか『救マーク』

救マーク認定事業所
救命講習修了スタッフ常駐施設



京丹後市消防本部

《救マーク》



消防のたもと

たんごの風 29号

119
火災・救急・救助

代表 62-0119
総務課 62-8119
管理係 62-8129
予防課 62-5119

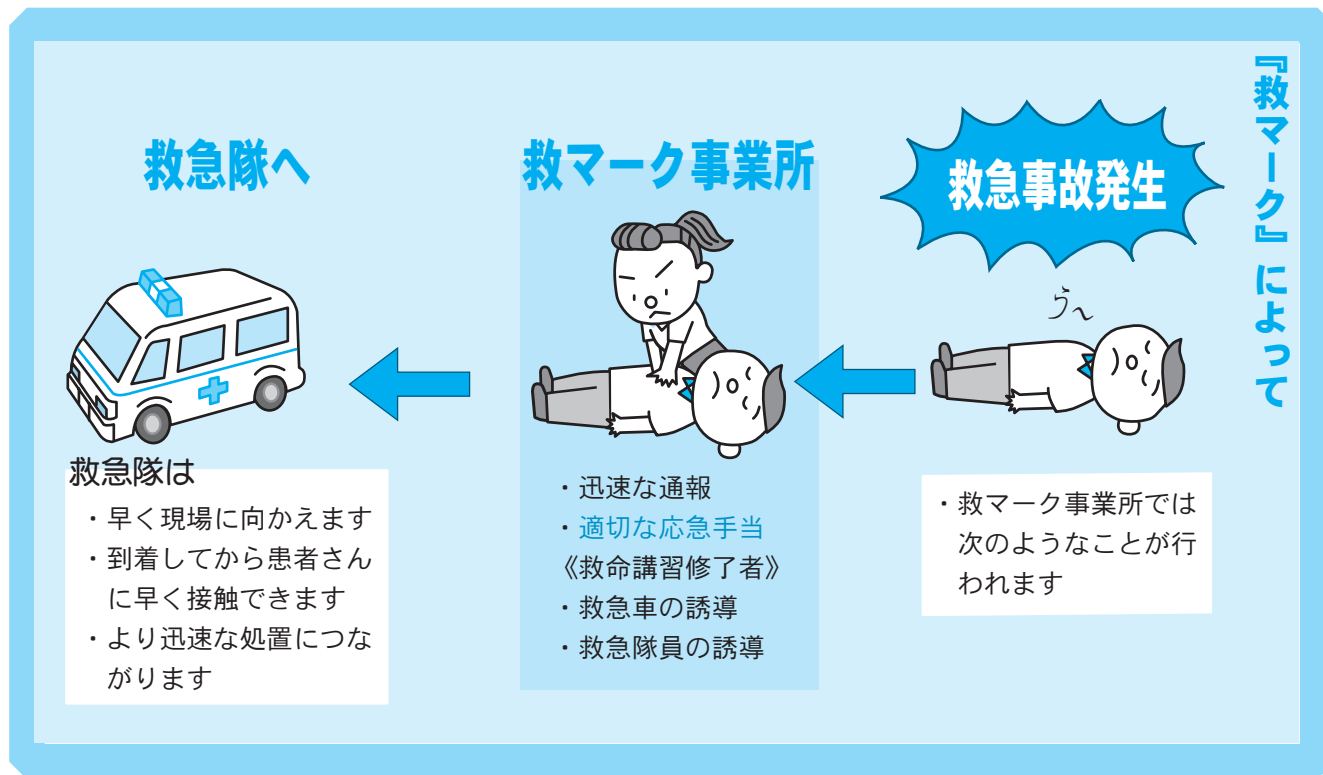
京都市内初です

市では、平成十八年十一月から、上級救命講習の修了者のかたが常駐する大型店舗や観光施設、事業所に「救マーク」プレートを交付して、救急患者に適切な対応ができることを認定する制度をはじめました。全国各地で取り組まれている制度ではありますが、京都市内では初めてのことです。

救命率の向上をめざして

京丹後市は、観光地であり年間を通じてたくさんのお客様が滞在しています。また面積が広く、救急車が現場へ到着するまでの時間が全国平均の六分より長く、その場に居合わせた市民（事業所）のみなさんによる応急手当、救急車の誘導などがとても大切になります。

このことから、消防本部を中心に市民のみなさんに応急手当の普及と救命率の向上をめざし「救マーク認定制度」を新設しました。



あなたの声を市政に く意見箱

紙面の都合によりご意見を一部割愛させていただきます。

Q 災害時のホームページによる情報発信のさらなる充実を

私の家は、地域の中でも冠水しやすい低地にあり、河川の水量には常に関心があります。

竹野川の水量がインターネットでも閲覧できることを知っていたので、昨年七月の大雨のときにも見えました。そんな中、市のホームページは、夕方の記載だけで、翌朝まで変わりませんでした。

宮津市は、刻々とはいきませんが、見やすい見出しで、避難勧告や災害の状況を閲覧できました。

新聞報道では、間人で発生した土砂災害に関し、京都府の情報を市当局が未端まで伝達しなかったことが報じられていました。

光ファイバー網を市内に構築する計画があるようですが、世間で言うハコモノをつくろうとしているのではないのでしょうか。

パソコンを操作できる担当者を残しておけば、現在の設備で警察や消防、各庁舎などの信頼できる情報を打ち込むだけで、私たちは閲覧できます。

市民の何人のかたが市のホームページを見ているのかはわかりませんが、今後、災害時には、スポンサー都合のテレビ番組や、お役所仕事ではなく、時々刻々、情報を発信してほしいと思います。

【市内・男性】

A 京都府と連携し、詳細で、わかりやすい情報発信に努めます

災害時における早く、正確な情報提供は、市民のみなさんの生命・財産を守るうえで、たいへん重要なことであると考えます。

ホームページを活用した災害にかかわる情報提供につきましても、正確な情報を少しでも早く、市民のみなさんに知っていただけるよう、情報の更新に努めているところですが、今回指摘いただきました情報の更新がなされなかったことについては、新たな被害情報が多くなったため、随時の更新ができていませんでした。

今後、いただきましたご意見を参考に、被害情報以外の情報も含めて、十分な情報更新ができなかったことを考慮し、京都府と連携した情報発信を検討しています。

くことは、極力少なくするようにしています。

ご指摘いただきました祖父母参観における祖父母のかたに代わってのご家族のかたの出席について市内の保育所へ確認しましたところ、その対応はまちまちでありました。祖父母のかたが来られない場合には、保育士が祖父母の代わりもしていました。結果として、お孫さんを悲しませることとなり、たいへん申し訳なく思います。

祖父母参観は、祖父母のみなさんに、お孫さんの保育所での様子をみていただくとともに、子どもたちが高齢者のかたを敬う機会となればと思いついて行っていますが、ご家族のかたが来られず、お孫さんが寂しい思いをされることのないような行事の持ち方が大切であり、今一度、職員間で行事の持ち方について話し合いを深め、子どもの気持ちに配慮した行事となるように努めたいと思います。また、行事のお知らせが一週間前という点についても、改めることとします。

なお、各保育所には、ご意見箱を設置しており、所長やそのほかの職員が責任をもって対応する体制をとっています。お気づきの点がありましたら、直接保育所へご意見をいただくこともできますので、ご理解いただけますようよろしくお願いいたします。

【子育て支援課】

く意見箱

Q かぶと山公園の遊具を使用禁止にした経緯を教えてください

かぶと山公園をときどき利用しています。

十月に行ったとき、すべての遊具に危険なので使用禁止の張り紙とロープがしてありました。どこが危険なのかも不明でしたし、いつまでなのかわかりませんでした。子どもが遊ぶのをすぐく楽しみに出かけたので残念そうでした。

私たち以外にも多くの親子連れが来ていたのですが、とまどっていました。なにか事故でも起きたのでしょうか。危険箇所や使用を禁止した経緯、またいつまで使用できないのか教えてください。

A 老朽化のため使用禁止とし、早急な修繕に努めます

かぶと山公園をご利用いただき、ありがとうございます。

かぶと山公園の遊具は、設置以降一定の期間が経過しており、またその間多くのかたにご利用いただき、老朽化が目立つようになつたため、昨年九月に専門業者に依頼し、安全点検を実施しました。

その結果、すべての遊具において、部分的あるいは全体的に腐食・破損などの危険箇所が指摘されたため、利用者の安全を第一に考え、遊具の安全性

討し、詳細な情報をわかりやすく掲載するなど、安心・安全を第一に考えたホームページとして、市民のみなさんに情報をお伝えしていきたいと思えます。

また、光ファイバー網の構築については、現在、市内には高速インターネットを十分利用することができない地域が多数あります。このため、平成十八年三月に策定した「京丹後市地域情報化計画」に基づき、情報発信のための社会基盤を整備することで、市内のすべてのかたが、必要なときに必要な情報（災害情報など）を得られるようにするためのものですので、ご理解ください。

なお、災害情報については、コミュニケーションを利用した告知端末機による情報発信も計画していますが、情報をより迅速・確実に伝えるため、さらにさまざまな手法を検討する中で、よりよい方法により情報発信できるように整備していく方針です。

【総務課】

Q 保育所祖父母参観では、もっと子どもの気持ちを教えてください

保育所で祖父母参観がありました。

私の家では祖父母とも仕事のため出席できず、帰宅すると孫が悲しそうにしていました。私は、代わりに母親が出席したと思っていたのですが、祖父母しか出席できないと、保育所から断ら

れ、帰ってきたそうです。孫は、だれも来てくれなかったと、悲しがっていました。

祖父母がいてもなにかの理由で出席できない場合や、祖父母が近くにいないため出席できない場合などがあると思います。子どもの気持ちへの配慮はどうなっているのでしょうか。孫は、「おじいちゃん、おばあちゃんと一緒にすることがあった」と話していました。それなら、余計、家族のだれかが参観に行かないと子どもはかわいそうです。

また、参観日のお知らせを見ると、十月二十七日の参観日の案内が、十月二十三日の発行日になっていました。もっと早く案内をすべきではないのでしょうか。

【市内・男性】

A 子どもの気持ちに配慮した行事となるよう努めていきます

保育所では、「子どもを温かく受容し、安定した生活と充実した活動ができるように地域のみなさんやご家庭のかたと連携を密にする」ことなどを方針に、子どもを第一に考える姿勢を大切にしており、保育所の行事についての考え方も同様です。

また、祖父母のかたにご参加いただく行事に限らず、行事の持ち方については、できる限り保護者のかたに負担がかからないような方法で行うことを念頭に、お仕事を休んでご出席いただ

が確保されるまで、一時使用禁止の措置をとらせていただきました。

この間、遊具の利用を楽しみにかぶと山公園にお越しいただきましたみなさんに、たいへんご不便をおかけしています。また、今回いただいたご意見を踏まえて、使用を禁止した理由などについても、掲示をさせていただきたいと思えます。比較的危険箇所の少なかったシーソーと円盤渡りにつきましては、平成十八年十一月に修繕を行い、使用を再開

【観光振興課】

しています。また、残りの遊具につきましても、今後、計画的に対応する予定としています。

遊具の安全性が確保されるまでは、ご不便をおかけいたしますが、利用者のみなさんにご理解とご協力をお願いいたします。今後とも、多くのかたにかぶと山公園を利用していただけるよう限り早急に遊具の安全確保に努めてまいります。

★★投稿に際してのおねがい★★

ご意見箱へのご意見には、お名前や連絡先をご記入いただいているかたにつきましては、直接お答えもさせていただきます。一方、お名前や住所などの連絡先の記入のないものにつきましては、市のホームページおよび広報紙でお答えしています。ホームページには随時掲載していますが、広報紙は月に1回の発行であり、どうしてもお答えを掲載するのに時間がかかってしまいます。また、広報紙では紙面が限られているためご意見やお答えを一部割愛して掲載することとなります。

これまで、お名前や連絡先などが記されていたご意見では、ご意見の内容を確認させていただき、できる限り正確でいねいな回答をお返すように努めています。お名前や連絡先などが記されていないご意見につきましては、再質問的に何度もいただいているご意見もあります。正確な回答をできるだけ速やかにお返すために、住所をはじめ、お名前・連絡先などをぜひご記入ください。

「出産育児一時金」の受取代理について 負担が軽減される 新しい申請方法ができます

平成19年1月から、病院、診療所または助産所（以下「医療機関など」）を受取代理人として事前に申請し、医療機関などから請求された出産費用の額を京丹後市から直接、医療機関などに支払います。（※注1）

◎対象者 京丹後市国民健康保険の出産予定被保険者のかたが属する世帯の世帯主のかた。（出産費用資金貸付制度を利用するかたは除きます）

ただし、京丹後市国民健康保険税を滞納している場合は対象となりません。

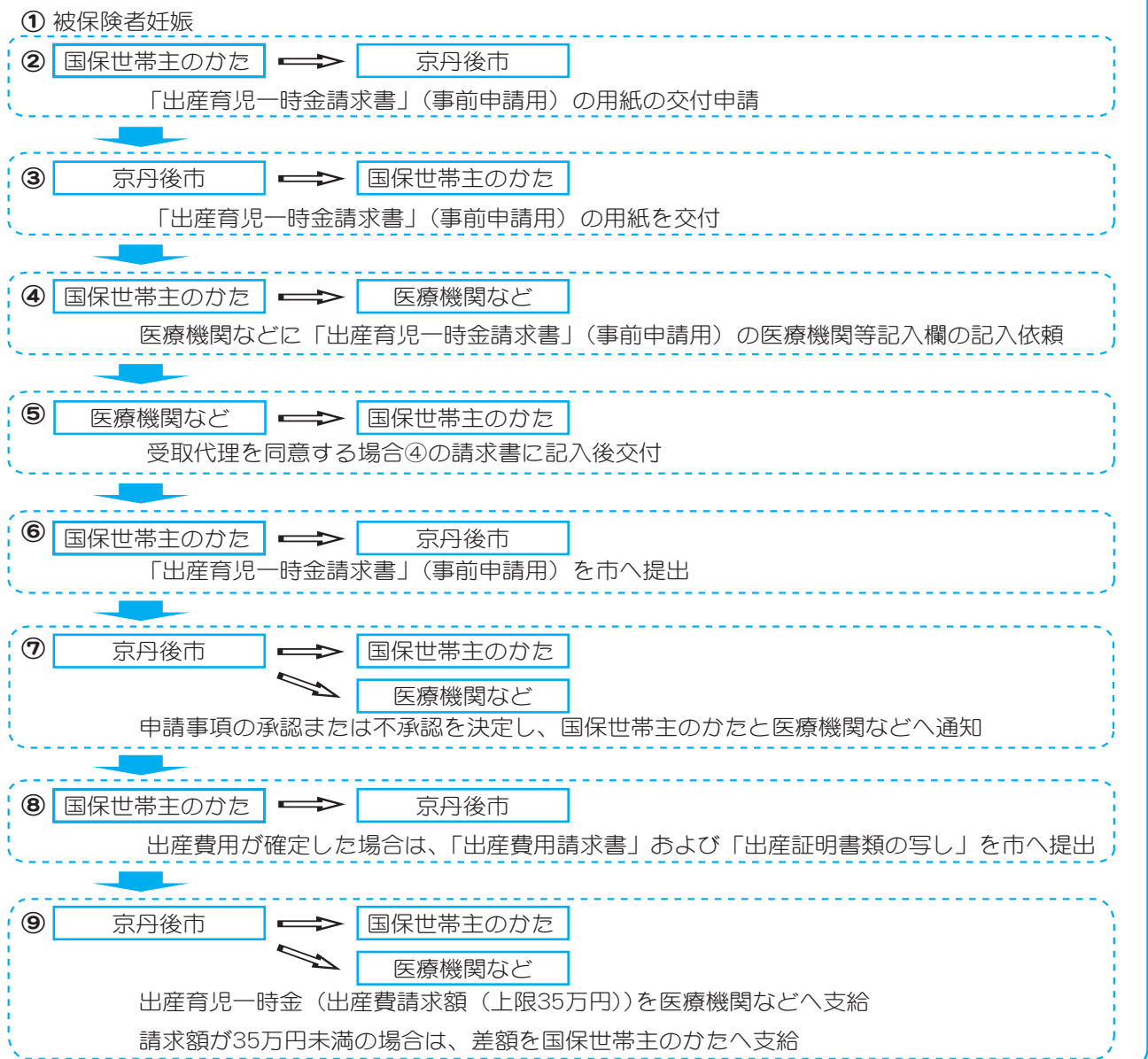
◎申請方法 「京丹後市国民健康保険出産育児一時金請求書（事前申請用）」（以下「請求書」）に、医療機関などで請求書の「医療機関等記入欄」に記入を受け（※注2）、市民局市民福祉課に申請してください。

（※注1）医療機関などの出産にかかる請求額が35万円以上の場合、出産育児一時金などの全額（35万円）が医療機関などへ支払われます。また、35万円未満の場合は、請求額について医療機関などへ支払われ、請求額と35万円の差額を出産をされた被保険者の世帯主にお支払いします。

（※注2）すべての医療機関などが、受取代理人になるとは限りませんので、事前に医療機関などにご確認ください。

出産育児一時金の受取代理申請の流れ

※出産予定被保険者のかたが属する世帯主のかたを「国保世帯主のかた」と言います。

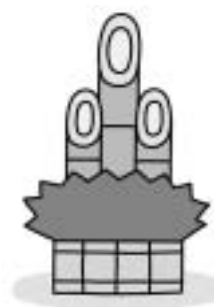


お問い合わせ先 医療保険課 (☎69-0220)

市立図書館 ご案内

あけましておめでとうございます

京丹後市立図書館は、本年も市民のみなさまに親しみやすい図書館をめざして、職員一同努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



平成19年 元旦

あみの図書館 ミニおはなし会&おりがみ教室

読書週間にちなみ、11月5日に「ミニおはなし会&おりがみ教室」を開催しました。

100人を超える親子が、大型絵本の読み聞かせやパネルシアターを楽しんだ後、みんなで簡単な折り紙『カップのパクパク』を折りました。

昔に比べて、折り紙で遊ぶ機会が少なくなり、珍しかったせいか、カップの目や皿を描くなどして仕上げるのも楽しく、なごやかな親子のふれあいの時間を過ごしました。



弥栄図書室 秋のお楽しみ会

読み聞かせサークル「虹色のたね」のみなさんにご協力いただき、11月18日に「秋のお楽しみ会」を開催しました。

内容は、手遊びからはじまり、絵巻物シアター、パネルシアター、なぞなぞシアター、光る紙芝居と盛りだくさん。子どもたちは、出演者の問いかけに元気よく答えたり、効果音にびっくりしたりと、会場は熱気にあふれ、楽しい時間を過ごしました。



光る紙芝居『三枚のおふだ』

峰山図書館 第47回読書感想文

本に親しみ、読後の感想を文章で表現することにより、豊かな人間性や考える力を育む目的で、峰山町内の小・中学校のみなさんから読書感想文を募集したところ、今年も1,046人（小学生836人・中学生210人）のみなさんから応募がありました。

このたび入選作品集を冊子にまとめましたので、ぜひご覧ください。（各図書館・図書室にあります）



第47回読書感想文入選作品集

入選されたみなさん

（敬称略）

- 優秀「ロボママ」 原田 太一（丹波小学校3年）
 - 優秀「イシガメの里」 宮本 翔生（丹波小学校3年）
 - 優秀「五体不満足」 斎藤 優衣（長岡小学校6年）
 - 優秀「ハードル」 樋口 大志（丹波小学校6年）
 - 優秀「1リットルの涙」 松下 理子（峰山中学校2年）
 - 佳作「どっきりばけくらべ」 太田 りん（峰山小学校1年）
 - 佳作「ありがとうのえほん」 岡井 鈴花（五箇小学校1年）
 - 佳作「どんなかんじかな」 北垣ひかり（五箇小学校2年）
 - 佳作「まあちゃん」 小倉 早織（峰山小学校5年）
 - 佳作「温室デイズ」 山本 彩乃（丹波小学校6年）
 - 佳作「ちいさな天使とデンジャラスパイ」 田中 仁美（峰山中学校1年）
 - 佳作「空色の地図」 義村 歩美（峰山中学校3年）
- ほか入選6人の計18人のみなさんが入賞されました。

1月の休館日

15日(月)・22日(月)・29日(月)

2月の休館日

1日(木)・5日(月)

開館時間：10:00～18:00

峰山・あみの図書館は、水曜日のみ19:00まで

※峰山・あみの図書館には、ブックポストがありますので、休館日の返却にご利用ください。
※休館日は、本紙発行日の1月10日以降、次号発行日の2月9日までを掲載しています。

お地蔵さまも厳しい冬本番に備える 平地地蔵 みの着せ



ていねいに「みの」と「ずぎん」を着せ込み
丹後の厳しい冬本番に備えました

丹後に冬の訪れを告げる地蔵院（大宮町上常吉）の「平地地蔵」で、伝統行事「みの着せ」が十一月二十三日に行われ、冬支度を整えられました。

平地峠をやさしく見下ろす「平地地蔵」は、府内一の高さと言われ、台座を含めて五・三メートル。江戸時代後期に、重税を押しつけた宮津藩に対して、領民が起こした文政五年（一八二二年）の「文政一揆」で、首謀者として捕らわれ拷問を受けながらも仲間の名前を明かさずに刑死した、地元出身の吉田新兵衛と吉田為治郎の成仏を祈願して天保三年（一八三二年）に建立されました。

しかし、二人の菩提を弔うことでは、建立が認められなかったため、当時、村人を苦しめていた山賊の退散を名目に建立したと伝えられています。

この日は、地元の世話人会（安達強代表）の七人が、午前七時三十分境内に集合。常林寺の西村泰丈住職の読経の後、「わら」で編んだ重さ約六〇キログラムもある「みの」と「ずぎん」を、豪雪にも大丈夫なように、はしごや竹ざおを使っていねいに着せ込み、冬本番の到来に備えました。

児童の安心・安全な登下校を確保 峰山町橋木地区で「通学バス」の運行を開始

児童の安心・安全な登下校を確保するため、かねてから地区やPTAから要望のあった峰山町橋木地区で、十一月十五日から「通学バス」の運行を開始しました。

同地区から丹波小学校への通学路（約三キロメートル）は、道路の幅員が狭く、通勤時間帯には交通量も多く、また人家のない山すそを長距離歩くことから、約四十年にわたって地域のみなさんが安全な通学対策の要望活動を続けてこられました。

今回の「通学バス」は、特に降雪により幅員が狭まる冬期間（十一月十五日〜三月下旬）運行するものです。

十一月十五日の登校前に橋木区公民館前で行われた「出発式」には、児童や保護者、学校関係者など約五十人が出席。松田喜久雄橋木区長は「永年の夢であり、たいへんありがたい」と要望の運行開始を喜ばれるとともに、児童を代表して沖諒子さんと門中奏子さんが「私たちのために『通学バス』を運行していただき本当にありがとうございます。どうぞよろしくお願いいたします。仲良く通学します」と感謝の言葉を述べました。

子どもたちは、永年にわたって要望活動が続けてこられた地域のかたのやさしい見送りを受けながら、学校へ向け元気に出発しました。



地域の要望が実った要望の運行に、子どもたちも喜んでいました

人口・世帯数

男	31,008人
女	33,423人
計	64,431人
世帯数	22,075世帯

(12月1日現在)

発行/京丹後市役所 編集/秘書広報広聴課
 〒627-8567 京都府京丹後市峰山町杉谷889
 ☎0772-69-0110 FAX0772-69-0901
 ホームページ <http://www.city.kyotango.kyoto.jp>
 E-mail hishokoho@city.kyotango.kyoto.jp